

## ◆ フィルネクスト 2033年ビジョン ◆

### フィルムの可能性を追求し、寄り添う力で、選ばれる会社へ

#### ～ 機能・美・環境が調和したフィルムで、暮らしに彩りと豊かさを届けます ～

現在、社会では「プラスチックは環境に悪いものである」といった認識が広まっています。しかし、本来プラスチック包材は、その高い機能性や利便性を活かし、代替素材では実現できない唯一無二の価値で世間に貢献してきたはずです。

フィルネクストは、生活の営みに欠かせない「衣食住」のうち「食」に貢献する企業として、顧客に寄り添う提案力を活かしながら、品質と安全性・機能性・高度な印刷技術・デザインの美しさ・リサイクル等の環境配慮技術のすべてを叶えるため、あらゆるステークホルダーと協働し、たゆまぬ技術開発に努めます。

そして、2033年に向けて、「プラスチック包材は使い捨て・ゴミになるもの」という世間の認識を、「リサイクル可能な繰り返し使えるもの」という認識に変容させます。そのうえで、フィルムの持つ本来の価値として「高い機能性によりフードロス削減等の社会課題に貢献するもの」「生活に不可欠な利便性を提供するもの」といった特徴を浸透させ、多様化する社会に彩りや豊かさを提供します。

また、これは従業員なくしては達成できません。従業員の働きやすさ、働きがい、健康、それぞれの幸せの実現に全力を注ぎ、物心両面の幸福に貢献することで、豊かな生活を提供します。

これらを通して、フィルネクストは、あらゆるステークホルダーに寄り添い「なくてはならない企業」になります。

## 2033 年に目指す姿

### フィルムの可能性を追求し、寄り添う力で、選ばれる会社へ

#### フィルムの可能性を追求 - 《2033 年に向けて注力すること》

- ・ 「プラスチック包材は使い捨て・ゴミになるもの」という世間の認識を、「リサイクル可能な繰り返し使えるもの」という認識に変容させる。
  - ・ そのために、サプライチェーン全体での連携や対話を通じて「資源循環に向けた技術の輪」を構築し、リサイクル可能なプラスチック包材開発により環境価値の創造に取り組む。また、積極的な情報発信を通じて、プラスチックに対する世間の認識を変革させる。
- ・ フィルムの持つ本来の価値として「高い機能性によりフードロス削減等の社会課題に貢献するもの」「生活に不可欠な利便性を提供するもの」といった特徴を浸透させる。
  - ・ そのために、顧客・消費者動向を迅速にキャッチし、攻めの開発により時代に即したフィルムの価値を追求する。
- ・ フィルムに期待される役割は時の流れとともに変化していくが、どんな時も、常に「コンバーティング技術」によって絶えずフィルムに付加価値を創出し続けること、これがフィルネクストの考える「フィルムの先」である。

#### 寄り添う力 - 《これまでも、これからも大事にしていきたいこと》

- ・ 柔軟な顧客対応力を活かし、全社一丸となって顧客ニーズに寄り添いたい。
- ・ 事業継続の根幹である従業員に寄り添いたい。
- ・ プラスチック包材の可能性に寄り添いたい。
- ・ 豊かな地球環境を後世に残すため、環境問題に寄り添いたい。
- ・ 消費者の暮らしに寄り添いたい。
- ・ 調達先・協力会社などあらゆるステークホルダーに寄り添いたい。

#### 選ばれる会社へ - 《2033 年に実現したい姿》

- ・ 「顧客」に選ばれる …顧客にとって、柔軟な対応力と、機能・美・環境を両立した高い技術力により、信頼できる魅力的な会社になる。
- ・ 「従業員」に選ばれる …従業員にとって、働きやすさ、働きがい、健康、それぞれの幸せの実現に全力を注ぎ、物心両面の幸福に貢献することで、自己実現の場としての満足度が高い会社になる。
- ・ 「調達先」に選ばれる …調達先にとって、サプライチェーンの上流と下流を結ぶコンバーターとして独自の役割を果たすことで、製品を供給したいと思う会社になる。
- ・ 「求職者」に選ばれる …求職者にとって、会社として目指す方向性や提供価値・強みを明確に発信することで、将来性に共感し働きたいと思う会社になる。